

Press Release(R4/1/5)

航空宇宙生産技術開発センターが実施する 「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」が 文部科学省の職業実践力育成プログラムとして認定されました

この度、岐阜大学航空宇宙生産技術開発センターにて社会人向け履修証明プログラムとして実施する「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」が、新たに文部科学省の職業実践力育成プログラム (BP) ^{※)} として認定されました。併せて、同プログラムの特徴として、地方創生 (地域活性化)、中小企業活性化、DX (AI・IoT 等) の3テーマが認定されました。

「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」とは、最先端の機器を利用した実践教育により、加工技術や設備技術・生産管理技術などを理解し統合するスキルを身に付けた「生産システムアーキテクト人材」としての企業の若手リーダーや将来の幹部候補生の育成を目指したものであり、座学・討論・実習を通じた総合的・実践的な学びにより第4次産業革命時代のリーダーとしての能力を養うものです。

プログラムに配置された各科目は、学術研究を専門とした大学教員のみならず、企業経験豊富な大学教員や航空業界・自動車業界等の製造業の技術者が担当し、経営や原価、品質、製造業DXなど最先端の製造業に係る知識・技術を修得できるカリキュラムとなっています。特に、総時間数 72.5 時間のうち 50 時間を占める「製造技術特論」では、航空宇宙生産技術開発センター内に設置された電動模型飛行機の自動組立ライン装置を活用した工程管理・工程設計の講義と実習、ロボット操作や PLC (Programmable Logic Controller : プログラマブルロジックコントローラー) のプログラミング実習を行うことで、技術者としての生産システム構築の総合的な実務基礎力を修得することができます。

本学はこれらの取組を通して、社会人のスキルアップ教育を推進してまいります。

つきましては、貴社の情報コーナー等への掲載や取材について、よろしくお取り計らい願います。

※) 職業実践力育成プログラム・・・

Brush up Program for professional (BP)。大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する制度であり、岐阜大学ではこれまでに土木技術者や民間建設技術者などを主たる対象とした「社会基盤メンテナンスエキスパート養成プログラム」が BP に認定されています。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学

工学部機械工学科

航空宇宙生産技術開発センター

准教授 伊藤 和晃

058-293-2404

kazu_it@gifu-u.ac.jp

航空宇宙生産技術開発センター

特任教授 石原 秀昭

058-293-3721

ishihah@gifu-u.ac.jp